



2026年5月14日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 ホ ー プ
代 表 者 名 代表取締役社長兼CEO 時津孝康
(コード番号：6195 東証グロース・福証 Q-Board)
問 合 せ 先 取 締 役 C F O 大 島 研 介
(E-mail：ir@zaigenkakuho.com)

剰余金の配当（無配）及び当面の配当方針に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、2026年3月31日を基準日とする剰余金の配当（期末配当）を行わないこと及び当面の配当方針について決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 剰余金の配当（期末配当）

	決定額	直近の配当予想 (2026年2月13日公表)	(ご参考) 前期実績 (2025年3月期期末)
基準日	2026年3月31日	同左	2025年3月31日
1株当たりの配当金	0円00銭	同左	0円00銭
配当金の総額	—	—	—
効力発生日	—	—	—
配当原資	—	—	—

2. 理由

当社は、自己資本の一部について事業投資に活用することによってさらなる企業成長を実現し、株主価値を高めることを基本方針としておりますが、安定的な株主還元と企業成長への投資を両立する観点から、手元流動性の最低水準を確保したうえで、超過資本を株主還元へ充当する資本政策を定めました。

2026年3月期の期末配当につきましては、2026年3月期分の株主還元を2027年3月期中間配当（特別配当）として実施する予定（下記「3. 当面の配当方針」参照）であるため、無配とさせていただきます。

3. 当面の配当方針

当社は、連結DOE 3%または連結配当性向 20%のいずれか高い水準を目安として、2027年3月期末配当より定常的な配当を実施する方針を定めました。DOE（株主資本配当率）は配当金を連結純資産で除した指標であり、自己資本の水準に連動して配当額が決まる構造を持ちます。連結配当性向は当期純利益に対する配当総額の割合を示します。両指標の「いずれか高い水準」を適用する設計のもとでは、当社の当面の利益水準においては連結配当性向 20%が主として適用される見込みです。一方、DOE 3%は、仮に収益が低下した局面においても純資産の水準に基づく配当額を確保するフロアとして機能するほか、将来的に資本が充実した局面においては増配の下支えとしても機能します。これにより、業績の変動や資本構成の変化に対して安定的・継続的な配当が可能となる設計としております。

また、2026年3月期分の株主還元として、上記配当方針を同期の実績に適用した金額に相当する2027年3月期中間配当（1株当たり3.85円の特別配当）を、2026年9月30日を基準日として実施する予定です。そのため、2027年3月期の年間配当は、当該中間配当及び期末配当の2回払いを基本とします。なお、2026年3月期分の株主還元を2027年3月期中間配当（特別配当）として実施する理由は、2026年9月30日を基

準日とすることで、本公表日以降に当社株式を新たに取得された株主の皆様も当該配当を受け取る機会をご提供するためです。当社としては、この中間配当（特別配当）が、当社株式の新規取得に向けたインセンティブとなることを期待しております。

（ご参考）年間配当の内訳

基準日	1株当たりの配当金		
	第2四半期末	期 末	合 計
2027年3月期（予想）	3円85銭 （特別配当）	4円55銭 （普通配当）	8円40銭 （普通配当4円55銭 ＋特別配当3円85銭）
2026年3月期（実績）	0円00銭	0円00銭	0円00銭
2025年3月期（実績）	0円00銭	0円00銭	0円00銭

以 上